

「長い災後」に向けて

被災後の時間と記憶を
考えるワークショップ

パネリスト1:

呂怡屏(国立台湾歴史博物館)

「八八水害十五年を振り返って
——記憶を繋ぐ場としての博物館」

パネリスト2:

横山智樹(日本学術振興会PD)

「原発災害後の被災集落再編プロセス
——「復興」と「時間」の交錯から」

コメンテーター:

洪郁如(一橋大学大学院社会学研究科)

久保豊(金沢大学国際学系、人間社会研究域
附属グローバル文化・社会研究センター)

原田魁成(金沢大学経済学系、人間社会研究域
附属グローバル文化・社会研究センター)

司会: 前野清太郎

(人間社会研究域附属グローバル文化・社会
研究センター)

1/7(火)

15:00-18:00

会場: 金沢大学角間キャンパス
総合教育棟5階D4教室
(ハイブリッド開催)

ZOOM事前登録

https://kanazawa-university.zoom.us/meeting/register/tZYrf-igqDosGNCJWEhWWIGrHb_m3h0mOZbs



主催: 金沢大学人間社会研究域附属グローバル文化・社会研究センター
グローバル・レジリエンス部門

共催: 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B)「台湾における
パブリック・ヒストリーの実践と日台の歴史認識: 越境する視座の構築」

問い合わせ: s-maeno@staff.kanazawa-u.ac.jp